

2018年12月6日
株式会社エクソル

つくった電気は「売る」時代から「かしこくつかう」時代へシフト 自家消費型太陽光発電システムの新提案

【情報解禁日時：2018年12月6日(木曜日)15時】

この度当社は、産業用太陽光太陽光発電システムの自家消費について、「完全自家消費型」、「余剰売電型」という2パターンによる新提案を開始します。設置する施設の業態、設置面積など様々な条件により最適なシステムが異なる太陽光発電の自家消費においても、お客様のニーズ、設置条件に合わせたご提案をいたします。

市場背景・サービスのねらい

これまで、産業用太陽光発電システムにおいて、発電した電気を売るのではなく、工場や施設などで使用する自家消費タイプのシステムは、BCP対策、CSRなどの目的で導入されることがメインでした。

しかし、システムの導入に掛かる初期費用が低減し、固定価格買取制度(FIT)による買取価格が下落して購入電力の価格に近づいているため、経済的な観点からも、つくった電気を「売る」のではなく「かしこくつかう」、自家消費が最注目されています。

また、近年は「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)」、「地球温暖化対策の推進に関する法律(温対法)」といった国内法だけでなく、世界共通の目標である「持続可能な開発目標(SDGs)」への取り組みも重要なものとなっています。さらに、「RE100」や「Science Based Targets(SBT)」といった気候変動対策に係る非国家アクターによるイニシアティブの存在感が国内でも増しており、企業活動における環境負荷低減に向けた取り組みの重要性が、一層と高まっています。

このような状況下において、太陽光発電システムの自家消費の需要が高まるだけでなく、災害時の非常用電源、経済性、CSR対策などニーズが多様化していくことが想定されます。当社では自家消費と一括りにせず、「完全自家消費型」、「余剰売電型」という2つの自家消費タイプを軸に、お客様のご要望に寄り添ったご提案をいたします。今後の展開としては、この2つの軸以外にも、蓄電池を活用したご提案を一層強めるための自家消費タイプの構築に向けた検討をすすめています。

XSOLの自家消費型太陽光発電システムのポイント

**Point 1：ニーズや条件に合わせる2パターンの自家消費タイプ
「完全自家消費型」、「余剰売電型」**

Point 2：自家消費型太陽光発電システム3つのメリット

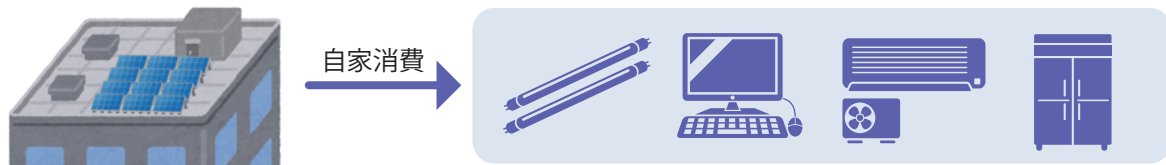


Point 1：ニーズや条件に合わせる2パターンの自家消費タイプ

太陽光発電システムの自家消費と一言で言っても、設置する施設の業態、設置面積など様々な条件により、お客様にとって最適な太陽光発電システムのタイプは異なります。当社では、「完全自家消費型」、「余剰売電型」という2パターンにより、お客様のニーズ、設置条件に合わせた最適なシステムをご提案します。

完全自家消費型

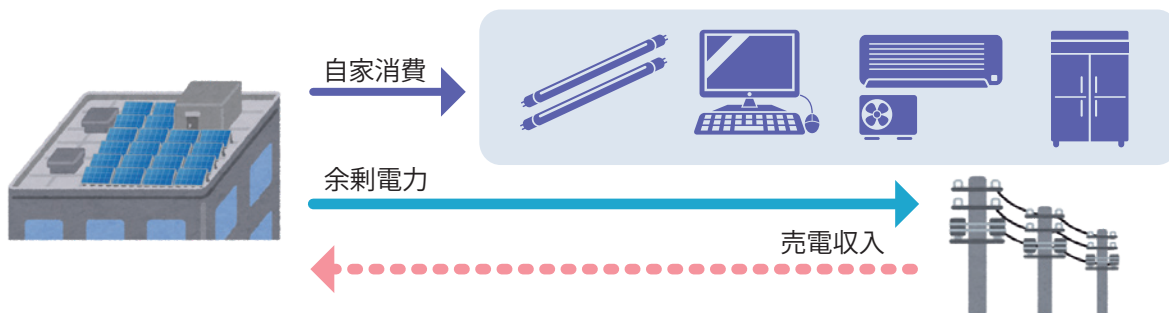
太陽電池モジュール搭載枚数は、電力使用状況に応じて調整し、発電した電気を**すべて自家消費**します。



- 工場やスーパーマーケット、飲食店など、消費電力に合わせた設計が可能
- CO₂排出量の削減につながる
- 出力制御の影響を受けない
- 初期投資費用が比較的少なく抑えられる
- 電気代の削減につながる

余剰売電型

太陽電池モジュールは、屋根面積に応じた最大設置枚数を搭載し、自家消費で使いきれずに**余った電力を売電**します。

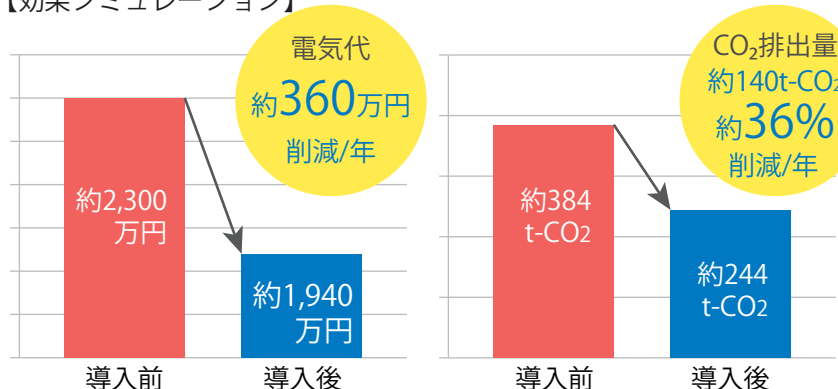


- 設置容量に制限がないため、設置枚数を最大限増やすことが可能
- 電気代の削減につながる
- CO₂排出量の削減につながる
- 売電収入が得られる

「完全自家消費型～タイル製造工場のシミュレーション～」

地域：滋賀県
契約種別：高圧 第2種 プランB
契約電力：600kW
設置容量：138kW (AC)

【効果シミュレーション】

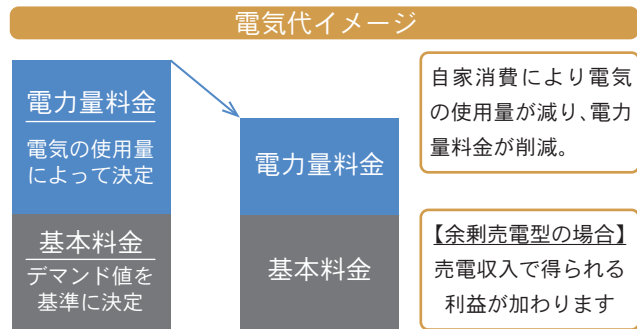


※上記の数値は、当社によるシミュレーション数値であり、結果を保証するものではありません。

Point 2：自家消費型太陽光発電システム3つのメリット

1. 電気代の削減

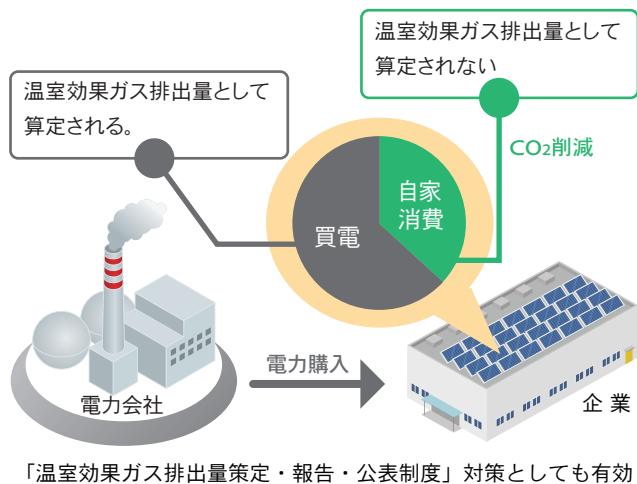
太陽光発電で発電した電気を建物内でそのまま使用し、電力会社から購入する電力量を減らして電気代を削減します。



2. CO₂排出量の削減

自家消費した電気はCO₂を排出しない電気として「環境価値」を持ちます。そのため、自社のCO₂排出量を削減するほか、「温室効果ガス排出量策定・報告・公表制度」対策として有効です。

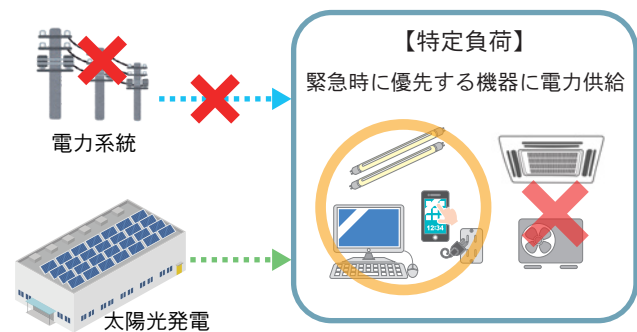
また、今後は「環境価値」の取引市場が生まれる可能性があります。



3. 非常時の活用

自然災害の影響などにより、停電になった場合でも太陽光発電設備を活用することで、非常用電源として必要最低限の電力を確保できます。

また、非常時に電源を開放することで地域貢献にもつながります。



—XSOL (エクソル) について—

当社は「太陽光発電の総合企業」として、再生可能エネルギーの普及促進によるエネルギー自給率の拡大や、地球環境保全を使命と考えています。そのためには、コスト低減と共に安心・安全をお届けすることが最重要と考え、機器だけでなく施工をはじめとするすべての品質・クオリティにこだわり、設計・調達・建設・メンテナンスまで含めたワンストップソリューションに取り組んでいます。

社 名：株式会社エクソル / XSOL CO., LTD.

設 立：2001年1月24日

代表取締役社長：鈴木 伸一（すずき しんいち）

本店所在地：〒604-8152 京都市中京区烏丸通錦小路上ル手洗水町 659 烏丸中央ビル

ホームページ：https://www.xsol.co.jp



<本件に関する報道機関からのお問い合わせ先>

株式会社エクソル 経営企画部 経営企画課：治田 TEL：03-5425-1258（代表）